

令和8年度 上越市立有田小学校 第1回学校運営協議会議事録

令和8年6月26日（金） 有田小学校 視聴覚室

進行 教頭

1 開会のあいさつ※略

2,3 学校長あいさつ（1学期進捗状況）※①は略

② 本年度の教育活動について

校 長：1学期の教育活動について、新しい取組を中心に報告する。授業参観日に親子参加型の「かがやきタイム」を実施した。また、その間に PTA 総会を設定したことで、多くの保護者の参加を得ることができた。家庭訪問は家庭確認に変更したが、保護者と直接顔を合わせる機会の重要性も改めて認識している。スポーツフェスティバルは午前開催・全員参加型としたが、その内容については今後も改善を図っていく考えである。保護者ボランティアからは多大な支援をいただいた。自然体験教室も実施し、今後は6年生の修学旅行を予定している。グランドデザインについては、昨年度から大きな変更はない。子どもたちは落ち着いて学校生活を送っている。仲良し目標については一定の成果が見られる一方で、ややマンネリ化しているため、今後は子ども主体の活動へ移行していきたいと考えている。学級数、職員数、児童数はいずれも減少している。来年度は創立10周年を迎える。友人関係や SNS 上のトラブルは発生しているが、早期対応に努めており、重大事案には至っていない。不登校傾向のある児童への支援も継続している。学力向上は課題であるが、非認知能力の育成も重視している。また、人手不足や子どもの多様化への対応も課題となっている。今後は AI 時代や人生100年時代を見据えた教育が必要である。子ども主体の学校づくりを進めるとともに、幼保小連携や小中連携も大切にしていきたいと考えている。学校経営方針として、「自分もみんなも大切に 一人一人のかがやきづくり」を掲げている。「ダメ出し」ではなく「ヨイ出し」を重視し、子どもたちの良いところや強みを伸ばしていきたいと考えている。また、結果だけでなく努力を認める関わりも大切にしている。

③ 学校評価について

教 頭：昨年度の取組を振り返る。「自分もみんなも大切にする子」の育成を目標に教育活動を推進してきた。中学校区での連携や、いじめ見逃しゼロスクール集会などの取組も継続した。夢志チャレンジスクールでは飼育活動や農業体験を実施した。保護者ボランティアの参加も増加し、子どもたちがお互いを尊重する姿も見られるようになっている。学校評価について見直しを行った。評価項目を整理し、「楽しい」「わくわくする」「自分や友達の良さに気付ける」といった視点を重視した内容へ変更している。夢志チャレン

ジスクールの予算は減額されている。厳しい状況ではあるが、地域の支援も受けながら活動を継続していく考えである。

4 意見交換「有田の子どもと共に歩む」

委員 A：スポーツフェスティバルにおいて、6年生の 100m 走がなくなったことが気になった。子どもの成長を実感できる機会だと考えるため、変更した理由を伺いたい。

教 頭：全校参加と午前開催を優先した結果、100m 走を 50m 走へ変更した。時間や会場の制約もあったが、来年度に向けてさらに検討を進めていく。

委員 B：全校児童が一緒に参加する形は良かったと考える。

委員 C：教職員が学校の課題を真剣に考えていることがよく伝わった。学校だけでは解決できない課題もあるため、PTA や地域も一体となって考えていく必要があると考える。

校 長：地域予算は今後厳しくなる見込みである。その中でも子どもへの支援を優先していきたいと考えている。また、保護者の声は非常に重要であると認識している。

教 頭：地域と保護者のつながりをさらに深めたいと考えている。保護者が地域と関わる機会を増やしていきたい。

委員 D：授業参観では、子どもたちが主体的に考え、友達と協力しながら学んでいる姿が非常に良かった。

委員 E：学校の取組や教職員の考えについて、保護者が知る機会をさらに増やしてもよいのではないかと考える。

* 本議事録は発言の趣旨をまとめたものであり、発言そのものを記録したものではありません。